

大会報告書

「青少年のための科学の祭典」新潟県上越大会報告書

- 開催日時 2019年11月23日（土）～11月24日（日）の2日間両日とも9:00～17:00開催
- 会場 上越科学館 （〒942-0063 新潟県上越市下門前446-2）
- 主催 「青少年のための科学の祭典」新潟県・上越大会実行委員会、公益財団法人日本科学技術振興財団
- 共催 株式会社 上越タイムス社
- 後援 文部科学省、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会
- 協賛 株式会社横瀬オーディオ、たけ建築事務所、国際石油開発帝石株式会社直江津 LNG 基地、生活協同組合コープにいがた上越センター
- 来場者数
- | | | |
|--------|-------|---|
| 11月23日 | 2,452 | 人 |
| 11月24日 | 2,772 | 人 |
| 合計 | 5,224 | 人 |
- 実施内容
- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所の出展があった。全国レベルの団体が出展することは珍しく、本大会のイメージアップにつながった。
 - ・福井県立恐竜博物館の職員を中心とする「中生代植物研究会」の出展があり、中生代の植物化石発掘体験を実施し、古生物ファンの関心を集めていた。
 - ・上教大附属小学校2年2組の出展があった。小学生、しかもクラス全員が参加するという取り組みは、全国でも珍しいことと思われる。
 - ・今回から地元紙と共催という形をとり、実験攻略本を作製した。
 - ・ブース数が18と過去最高となり、入館者も5,224人と過去最高となった。
- 出展数 18出展
- 出展タイトル一覧
1. 光ってフシギ！偏光万華鏡をつくろう！
 2. 自分だけの天体キーホルダーをつくろう
 3. みんなでサイエンスファン ～かがくであそぼう～
 4. ネイチャークラフト
 5. 恐竜時代の植物化石をみつけよう！
 6. 天文写真展
 7. 燃料電池車を走らせよう！
 8. パズルでサイエンス ～パズルで頭を使おう、マジックをしよう～

9. 木材を圧縮してみよう
10. 臭いの違いをわかって!!
11. 空飛ぶじゅんたんに 乗ってみよう 作ってみよう
12. UV キャッチストラップを作ろう!
13. 将来の国産エネルギー資源メタンハイドレート
14. 微生物ってなに? 酵母ってなに?
15. 雲の模型を作ってみよう
16. 新聞紙のチカラ
17. ゴシゴシ✳️ アンモナイト消しゴムをつくろう!!
18. 算数の広場

■製作物

- ・実験解説集：B5版／表紙4色・中1色／ページ数36／製作部数：5,000部
- ・チラシ：A4版／片面4色／製作部数：5万枚

■広報活動

- ・チラシは、上越地域（柏崎市を含む4市）の幼稚園、保育園、小中学校の全園児、児童、生徒に配布した。
- ・新聞：上越タイムス、上越よみうり、新潟日報（11月24日朝刊）
- ・ラジオ：FM上越「広報Jステーション」（11月6日）、上越有線放送協会「実験おじさんのなんでもサイエンス」（10月29日）
- ・テレビ：JCV（上越ケーブルビジョン）「MJインフォメーション」（11月16日～22日）
- ・その他：広報上越11月1日号